

服飾表現学科・衣装表現専攻

1. 課程修了時の能力水準

ディプロマポリシーで定められている専攻の専門職業人の人材育成を目標としている。

専攻課程修了時に達成されることが期待される能力の水準は「学生の学習成果の評価の方針（アセスメントポリシー）」の表に定められている水準である。

衣装表現に必要とされる発想、デザイン・構想、エスキース、制作、プレゼンテーション等の創作プロセスにウェイトを置いた実践能力の育成を目指す。

舞台や映画で美しく独創的な衣装を制作する衣装デザイナーなどの人材育成を目標とする。

2. 各年次の能力水準

多くの卒業生に関わっている企業や卒業生の意見を基に各学年における到達目標を定めている。

GPA 制度の評価方法は、科目の成績を 5 段階で評価したものに、S=4、A=3、B=2、C=1、D=0、のグレードポイント（GP）を付与し、奨学金の選抜や卒業時の代表の選考等に活用している。

2 年次：専門コースの基礎知識における学力到達目標

- ・ 衣装についての基本を理解しイメージを作りデザイン画を描く。

- ・ デザイン画に基づいて具現化できる能力。

: 実務認識をもつ

- ・ 実務経験者との美術・映画の鑑賞において実務認識の視点を理解する。（全員）

: 学部評価としての検定

- ・ 色彩能力検定 3 級（全員）

: 評価基準（衣装デザイン・制作）

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢... 10%

基礎課題 ... 30%

応用課題 ... 40%

プレゼン能力 ... 20%

: 評価者

（学内） 2 年担当者評価

（学外） なし

3 年次：専門コースの応用知識における学力到達目標

- ・ 衣装に関する知識（時代背景やスタイル）を元にイメージを作り出しデザインをする。

- ・ イメージしたデザインを造形的に具現化することができる。

: 実務認識をもつ

- ・ 実務経験者との美術・映画の鑑賞において実務認識の視点を深める。（全員）

: 学部評価としての検定

- ・ 色彩能力検定 2 級（全員）

: 評価基準（衣装デザイン・制作）

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢	... 30%
作品（芸術性・素材選び・パターン力・縫製力・完成度）	... 50%
プレゼン能力	... 20%

：評価者

（学内） 3年担当者が評価

（学外） なし

4年次：専門コースの卒業年次における学力到達目標

- ・衣装製作における専門知識を元に独創的なイメージを膨らませ、デザインをすることができる。
- ・自らのイメージを造形的に具現化し総合的な世界観を表現することができる。

：学部評価としての検定

- ・色彩能力検定2級（全員）

：評価基準 卒業制作（衣装デザイン・制作）

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢	... 30%
作品（独創性・デザイン力・造形力・スタイリング）	... 50%
プレゼン能力	... 20%

：評価者

（学内） 4年担当者が評価

（学外） なし